

自分の命を守るために「防災出前授業」【4年生】

1月8日、千葉市防災普及公社の皆様をお招きし、4年生を対象とした「防災出前授業」を行いました。いつ起こるかわからない自然災害に対し、正しく恐れ、適切に行動する力を養うための貴重な体験学習となりました。

＜「揺れ」と「煙」の恐ろしさを肌で感じる＞

地震体験車（起震車）では、過去の震災を再現した大きな揺れを体験。机の脚をしっかりと握り、身を守る姿勢をとるお子さん達の表情は真剣そのものでした。

また、**煙体験**では、視界が遮られる中を姿勢を低くして進む難しさを学び、「もし本当の火事だったら…」と、日頃の避難訓練の大切さを改めて実感したようです。

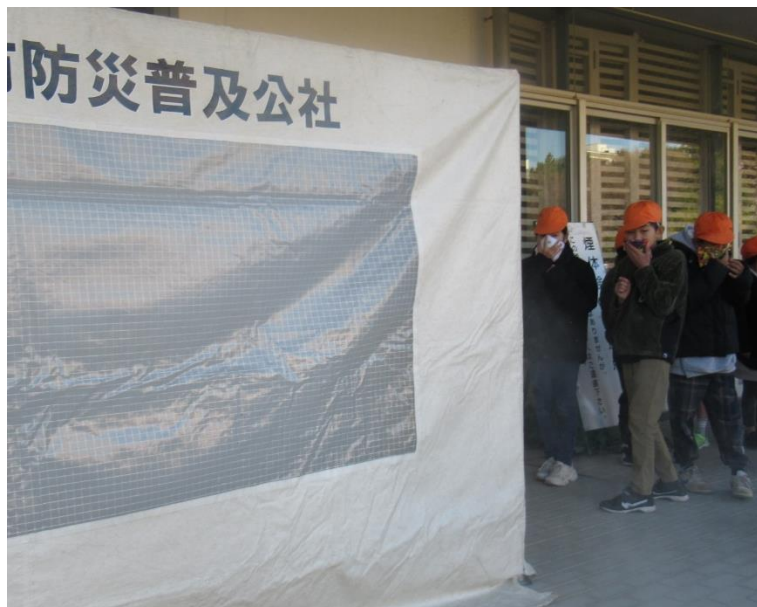


震度6強

想像を超える大きな揺れ。机の脚をしっかりと
掴んで、自分の身を守る姿勢を学びました。



＜煙体験ハウス＞ 中は白い世界。全く視界が効きません。



まっ白で前が見えない…。壁を伝って慎重に。火災時の避難の難しさを、五感を使って学習しました。

<学校の備えを知る「マンホールトイレ」学習>

授業の締めくくりには、本校職員の指導のもと、災害時に使用する「マンホールトイレ」の設置・使用方法について学びました。普段、何気なく見ている地面の下に、自分たちの生活を支える仕組みがあることを知り、子どもたちは驚きの声を上げていました。



「自分の命は自分で守る」こと、そして「避難所となる学校の設備を知っておく」こと。
この二つの学びは、お子さんの防災意識を大きく引き上げたはずです。
ご家庭でもぜひ、本日の体験について話題に挙げていただき、家具の固定や避難場所の確認など、防災について話し合うきっかけにいただければ幸いです。